

いわふねいし

磐舟石



ふ
と一息 ひといき
山頂 さんちやう へ いこ 総 いこ う
般石 いわ 舟 ふね 石 いし

【磐舟石って？】



神武天皇が舟に乗って吉野川を下り、阿太に着いたといわれているところに、舟の形をした大きな石「**天磐舟(あまのいわふね)**」があります。

【神話と阿多隼人】



阿太地域には昔から伝わる神話があります。神武天皇が熊野から山をこえて大和に向かっているとき、吉野川の中流で魚をとっている**ニヘモツノコと出会いました**。彼らは阿蛇(阿太)の**鶺鴒いの祖**(始めた人)とも呼ばれています。ニヘモツノコが神武天皇にアユをさし上げた場所が「**皇座位(こういざ)**」と伝えられています。



【ニヘモツノコ】

「**ニエ**」はお供物、**神への捧げ物**のこと。生贄の「贄」。ニヘモツノコというのは、別の言い方では**「巫女」「神官**」という意味でしょう。鵜飼をして魚を取っていた人物が、「神に捧げ物をする」という意味の名前を持っているということは、この**魚は「神への捧げ物**」として捕らえていたということになります。



磐舟石は写真で見たときよりも
岩がごつごつしていて本当に舟の
形をした岩になっているのがわかりまし
た。家の近くにあるのに初めてしったこ
とばかりだったのでもっと自分の地域に
あるものに興味をもって調べていきたい
です。



作成者：T.Y.